

「ジェンダー平等の実現を目指して」

さばえ男女共同参画ネットワークの活動を紹介します

さばえ男女共同参画ネットワーク（平成20年5月18日設立）には、市内で活躍するさまざまな団体が参加しており、それぞれの活動を尊重し、情報交換、研修の実施など連携を図りながら、男女共同参画による豊かで活力のあるまちづくりに努めることを目的に活動しています。

主な活動

- 1 男女共同参画社会の実現に向けた啓発・推進
 - ・朗読劇による市民への啓発活動
 - ・講演会や研修会などを通しての推進活動
 - ・市議会傍聴など
- 2 県内外の各団体との交流会、合同研修会などへの参加
 - ・ふくい女性財団等の大会・研修会への参加
 - ・他市町ネットワークとの交流会

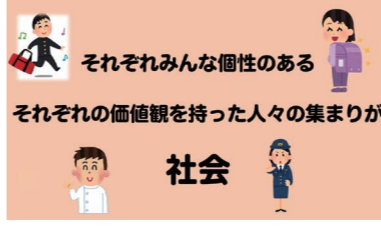
参加団体（17団体）

- ・鯖江地区人権擁護委員会
- ・夢みらい We
- ・(特非) さばえ NPO サポート
- ・鯖江市区長会連合会
- ・鯖江市愛育会
- ・鯖江市連合女性会
- ・JA 福井県女性部たんなん支部
- ・退職公務員連盟鯖江支部
- ・鯖江市母子寡婦福祉連合会
- ・福井県民生協同組合
- ・鯖江市赤十字奉仕団
- ・鯖江市やんしき保存協会
- ・鯖江市民生委員児童委員協議会連合会
- ・鯖江市壮年グループ連絡協議会
- ・鯖江市 PTA 連合会
- ・(特非) エコプラザさばえ
- ・青少年健全育成鯖江市民会議

2021朗読劇「鯖さん一家」が完成しました

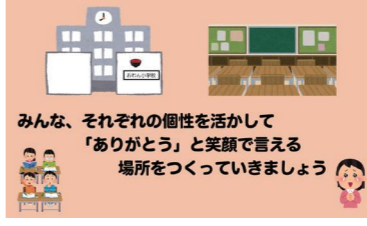
例年制作している朗読劇。コロナ禍により、皆さんに披露することが困難なことから、動画配信を行っています。今年度は学校でのジェンダー平等や多様性の認知を視野に入れ制作しました。「男らしさ」や「女らしさ」で表現されるジェンダー、多様性を認め合える社会や仲間の必要性について、子どもたちが少しでも「知る」「感じる」「認める」ようになって欲しいと願っています。そして、この朗読劇を見た子どもたちが、ジェンダー平等社会実現への機動力となり、誰もが幸せに暮らせる鯖江市に向けて、共に歩んでいけることを期待します。（朗読劇は夢みらい館・さばえのホームページで公開しています。）

「鯖さん一家 ～大切な価値観～」



それぞれみんな個性のある
それぞれの価値観を持った人々の集まりが
社会

「鯖さん一家 ～やさしくすること/されること～」



みんな、それぞれの個性を活かして
「ありがとう」と笑顔で言える
場所をつくっていきましょう

朗読劇動画を見ながら男女共同参画社会について考えてみませんか？
現在、3本の朗読劇動画をYouTubeで配信しています。皆さんの団体や集まり、家族で動画を見ながら、ジェンダー平等や男女共同参画について考えてみましょう。

(配信中の動画)
 「鯖さん一家 ～コロナ禍の手探り挑戦～」(2020年制作)【大人向け】
 「鯖さん一家 ～大切な価値観～」【中学生向け】
 「鯖さん一家 ～やさしくすること/されること～」【小学生向け】

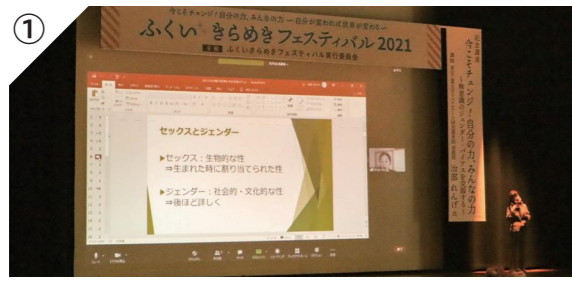
夢みらい館・さばえのホームページはこちら

「ふくいきらめきフェスティバル 2021」に参加

6月19日(土) 会場 ユー・アイふくい
ジャーナリストで東京工業大学准教授の治部れんげ氏による「無意識のジェンダー・バイアス」をテーマとしたリモート記念講演会に参加しました。無意識のジェンダー・バイアス(先入観)は誰にでもあるが、同時に、それを意識して克服・是正していくことは、誰もがができる男女共同参画社会を実現していくための一つの方法であると認識することができました。

つるが男女参画ネットワークとの交流会

11月14日(日) 会場 夢みらい館・さばえ
つるが男女共同参画ネットワークとさばえ男女共同参画ネットワークの約40人が夢みらい館・さばえで、お互いの事業、活動内容の紹介や今後の敦賀市・鯖江市の男



①「ふくいきらめきフェスティバル 2021」治部れんげ氏のリモート記念講演 ②③つるが男女共同参画ネットワークとの交流会 ④「人権講演会」金澤泰子氏のリモート講演会

女共同参画活動をさらに広めるための意見交換を行いました。ネットワーク会員の増に向けた施策やイベント、活動への会員の参加を促すために会員同士のコミュニケーションが必要であるなど活発な意見が交わされ、とても有意義な時間となりました。

人権講演会

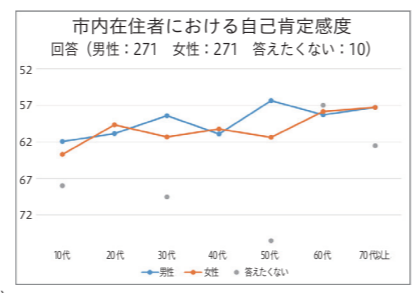
11月28日(日) 会場 鯖江商工会議所
ダウン症で書家の金澤翔子氏の母 金澤泰子氏による「ダウン症の娘と共に生きて」と題したリモート講演会を開催しました。講演会では、障がいのある娘の誕生や突然の夫の死など、さまざまな試練を体験しながらも、娘の不思議な力を信じる母の強さをその穏やかな話し方、優しい声の語りの中に感じました。さまざまな人々がお互いの才能を認め合い、生きることは、とても素晴らしいことだと考えさせられる機会となりました。

“インポスター症候群ゼロ運動”『自己肯定感に関する調査結果』を公表します

女性活躍を拒む要因の一つといわれる「インポスター症候群」に大きく関わっているとされている「自己肯定感」について、今年度、市が実施したアンケート調査の結果を公表します。

調査の結果、若い世代では自己肯定感が低く、年齢が上がるにつれて高くなっていく傾向が見られる一方で、30代と50代の女性の自己肯定感の高さは、男性に比べて低い傾向が見られました。

市では、今回の調査結果を踏まえて、今後の男女共同参画・女性活躍推進に取り組んでいきます。なお、自己肯定感に関する調査結果の詳細は、市ホームページに掲載しています。



↑ 高い
自己肯定感
↓ 低い

(インポスター症候群とは?) 自分の能力を必要以上に過小評価し、本当はできる能力がありながら、最初からチャレンジを諦めてしまう傾向のこと。市では、女性活躍を拒む要因の一つとしてインポスター症候群に着目し、現状把握のためのアンケート調査を実施。今後、改善策を探っていきます。

会員を募集します!

さばえ男女共同参画ネットワークでは、団体・個人会員を募集しています。男女共同参画による豊かで活力のあるまちづくりを目的に一緒に活動しませんか。

(問合せ先) 男女共同参画ネットワーク事務局
☎ 53-2215 (市民活躍課内)



国際女性デー 横断幕を設置します!

- さばえ男女共同参画ネットワークでは、令和2年度より、みんなが輝ける社会・鯖江市に向けて、「国際女性デー」の横断幕を3月1日から1カ月間、市役所正面玄関に設置しています。
- 横断幕には、「国際女性デー」の象徴である黄色が鮮やかなミモザの花のように、日々がんばる女性とそれを応援する男性に感謝し、SDGs Goal5「ジェンダー平等を実現しよう」の達成に向けて、みんなが主役の男女共同参画社会を目指す願いが込められています。

